

2018.1.30

河合塾

「平成 29 年度大阪大学一般入試（前期日程）等における理科問題（物理）[3]A」の見解

大阪大学は問 4 で 3 つの解答を同等に正解としていますが、当初、大阪大学が提示していた解答は学問的には誤りであると考えます。もちろん、受験生の解答としては認められるべきものです。

音波は疎密の状態が伝わる波ですが、壁で反射されるとき、密は密のまま反射されます。大阪大学は密が疎に変わって反射されると誤認したと思われます。そのため、問 5 で現れる数値を問 4 までとは矛盾した設定にしています。

平成 30 年 1 月 12 日に発表された「平成 29 年度大阪大学一般入試（前期日程）等における理科問題（物理）[3]A 解説」では、誤認したことに触れないばかりか、正当性の根拠として専門家だけが知る知識を持ち出したことは、ミスが発生要因を掘り下げていないと受け取られても仕方がないことと考えます。

物理教育にも良くない影響を与えかねませんので、今後、このような不備がないように、再発防止に期待したいと考えます。

河合塾